



けやきっ子

六栄小学校だより

第31号

令和7年1月29日

文責：久保田 眞二

学校教育目標：瞳輝く「けやきっ子」～自立、協働、創造～

人権集会実施～みんなが安心して楽しく過ごせるように～

1月28日(火)、2時間目に低学年、3時間目に中学年、4時間目に高学年の人権集会をしました。これまで、1年生は「なくなった たまご」、2年生は「どうぶつ村の子どもたち」、3年生は「このままだまっていのか」、4年生は「お父さんの思いや願いを受けて」、5年生は「この子とともに」、6年生は「あなたたちに伝えたいこと」という教材で人権について学習してきました。学習をして学んだことや考えたことなどを発表したり、作文をもとに意見交換をしたりして、これまでの人権学習で学んだことを更に深めることができました。具体的には、低学年は「きめつけ」のおかしさについて、中学年はいじめや差別にどう向き合うか、どう行動するかについて、高学年は水俣病差別とハンセン病差別を通して正しいことを「知ること」、「知ろうとすること」の大切さについて学びを深めました。しかし、実際の学校生活の中では、友達のことを傷つける言動を時々見ることがあります。今回の人権集会を通して、子どもたちが自分たちの学校生活を振り返り、みんなで差別やいじめのない六栄小学校を作っていくこととする気持ちを高め、人権学習で学んだことを日々の生活の中で生かしてくれることを期待しています。



人権学習で学んだことを一生懸命に発表する児童と、それを真剣に聞く児童の様子

さて、全国の学校現場ではいじめ・不登校・問題行動等、人権に関わる問題が起こっています。これは、学校だけの問題ではなく、学校、保護者、地域、関係機関などが連携しながら取り組んでいくことが大切だと思います。「人権学習で、どんなことを学習したの?」「人権集会で、どんな発表があったの?」「クラスの子は、みんな楽しくできているかな?」など、人権学習について学校の様子を聞かれたり、人権について親子で話し合ったりしてほしいと思います。そして、みんなが安心して楽しく過ごせる六栄小学校にしていければいいなと思います。

自己有用感・自尊感情を伸ばす声掛け・対応を

毎年12月に全校児童に「心のアンケート」を実施しています。その結果を一部抜粋したものが右の表です。「誰かの役に立っていますか」の質問に対して、30%の児童は否定的な回答をしています。また、「自信のあることや自慢できることはありますか」の質問に対して、24%の児童は否定的な回答をしています。そこで、六栄小の児童には「自己有用感・自尊感情」を更に育てる必要を感じています。子どもはそれぞれに良さや可能性をもっていますが、大人の声掛け・対応次第では自己評価が上がったり、下がったりする可能性があります。自己評価が上がれば、いろんなことに積極的になり、良さや可能性を更に伸ばすことになります。六栄小の児童がそれぞれの良さや可能性を伸ばすためにも、子どもを伸ばす声掛け・対応を心がけなければならないと考えています。保護者・地域の皆さまにもご協力いただきますようお願いいたします。

	質問	答え	実数	割合
1	誰かの役に立っている	ある	44	20%
		少しある	113	50%
		あまりない	44	20%
		ない	23	10%
2	自信のあることや自慢できることがある	ある	98	44%
		少しある	72	32%
		あまりない	32	14%
		ない	22	10%

令和6年度「心のアンケート」より全校児童の意識調査結果(一部抜粋)

学校評価アンケートはお済でしょうか

1月24日付けで「令和6年度後期 学校評価アンケート(保護者用)ご協力をお願い」のプリントを配布しています。読まれたでしょうか。この学校評価アンケートは、保護者、児童、教職員、学校関係者の皆様にお願いで、六栄小学校の教育を更に充実したものにするための資料となるものです。前期に行いました学校評価アンケートの結果につきましては、学校だより21号に掲載しましたが、保護者のアンケート回収率が49.34%でした。保護者の皆様の意向を取り入れながら今後の教育活動を充実させていきますので、アンケート回答へのご協力を改めてお願いします。なお、兄弟関係がいらっしゃる方はお子様一人毎に回答をお願いします。右に掲載しているQRコードから回答をお願いします。締め切りは2月7日(金)としております。お忙しいとは存じますが、ご協力をお願いします。



毎月17日は「ながす交通安全の日」

来週から2月になります。早いですね。

